

モリト株式会社

## 2024年11月期 第1四半期決算概要

東証プライム 証券コード 9837

2024年4月

あたりまえに、新しさ。 MORITO

- 1 会社概要
- 2 第8次中期経営計画(2024年1月公表)
- 3 2024年11月期1Q 業績
- 4 2024年11月期1Q 事業の概況
- 5 事業トピックス
- 6 株主還元策

# 1

## 会社概要

---

# モリトグループの価値観

---

## 創業理念

積極・堅実

## 経営理念

パーツでつなく、あなたとつながる、未来につなげる

## 経営ビジョン

存在価値を創造する、  
あたらしい「モリトグループ」の実現



# 会社概要

## ● 1908年創業

- ・大阪にてハトメ・ホックの仲買商として開業
- ・その後、マジックテープ®など服飾の付属品、自動車内装部品等の販売を中心に拡大

## ● 製造機能も併せ持つメーカー的機能を持つ商社

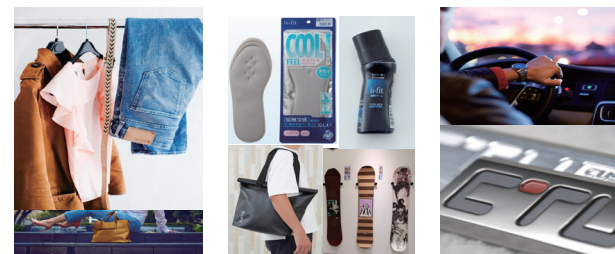
- ・企画・開発から製造に加え、卸・流通までを一貫して手掛ける専門商社
- ・世界に19拠点展開

## ● 3つの事業を展開

- ・アパレル関連、プロダクト関連、輸送関連が事業の柱
- ・自社生産30%、調達70%ほどの構成



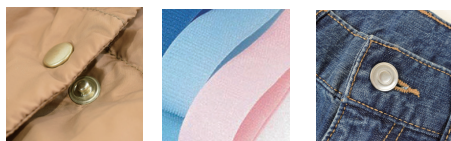
※ハトメ：靴・衣類などに紐を通す穴に取り付ける環状の金具



# 事業別詳細

## アパレル関連事業

<取扱い商品例>



ホック    マジックテープ®    ボタン



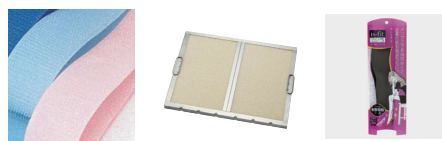
テープ    ハトメ・靴紐    自社ブランド

<活用例>

カジュアルウェア・シューズ  
スポーツウェア・シューズ  
作業服・シューズ  
メディカルウェア、ベビーウェア  
フォーマルウェア・シューズ、バッグ

## プロダクト関連事業

<取扱い商品例>



マジックテープ®    グリスフィルター    インソール



ストラップ    スケートボード・  
スノーボード・  
サーフィン    自社ブランド

<活用例>

インソール・シューケア商品  
カメラ・PCケース等映像機器関連商品、  
サポーター、安全関連商品、教具・文具  
スケートボード・サーフィン等  
アクティブスポーツ関連商品  
グリスフィルターレンタルサービス

## 輸送関連事業

<取扱い商品例>



ホック    マジックテープ®    ネット



エンブレム    トランク  
フロアボード    ドアアーム  
レスト

<活用例>

自動車内装部品  
鉄道・新幹線内装部品  
航空機内装部品

# モリトの強み

## ● 流行に左右されない、生活必需品向けのビジネスが多数

日常生活に欠かせないもののパーツを扱っているため、流行・景気に左右されにくく、継続的に販売ができるビジネスが多数。

## ● ポートフォリオが分散して安定した業績

アパレル・プロダクト・輸送関連の3つの事業を柱に、ワールドワイドに事業を展開。オイルショックやリーマンショック、新型コロナウイルス感染拡大の影響などがあっても、赤字にならない安定した業績を維持。

## ● ニッチ分野をターゲットに、多彩なアイテムで高シェアをマーク

各業界分野でシェア率の高い商品多数。  
金属ホックは日本で1位、世界でも1位、2位を争う。

## ● 製造・調達・販売をグローバルに展開

自社拠点以外にも、協力工場や代理店が世界各地にあり、あらゆる顧客ニーズにできるだけ近くで対応。

2

## 第8次中期経営計画(2024年1月公表)

---

## 中長期方針 モリトが目指す姿

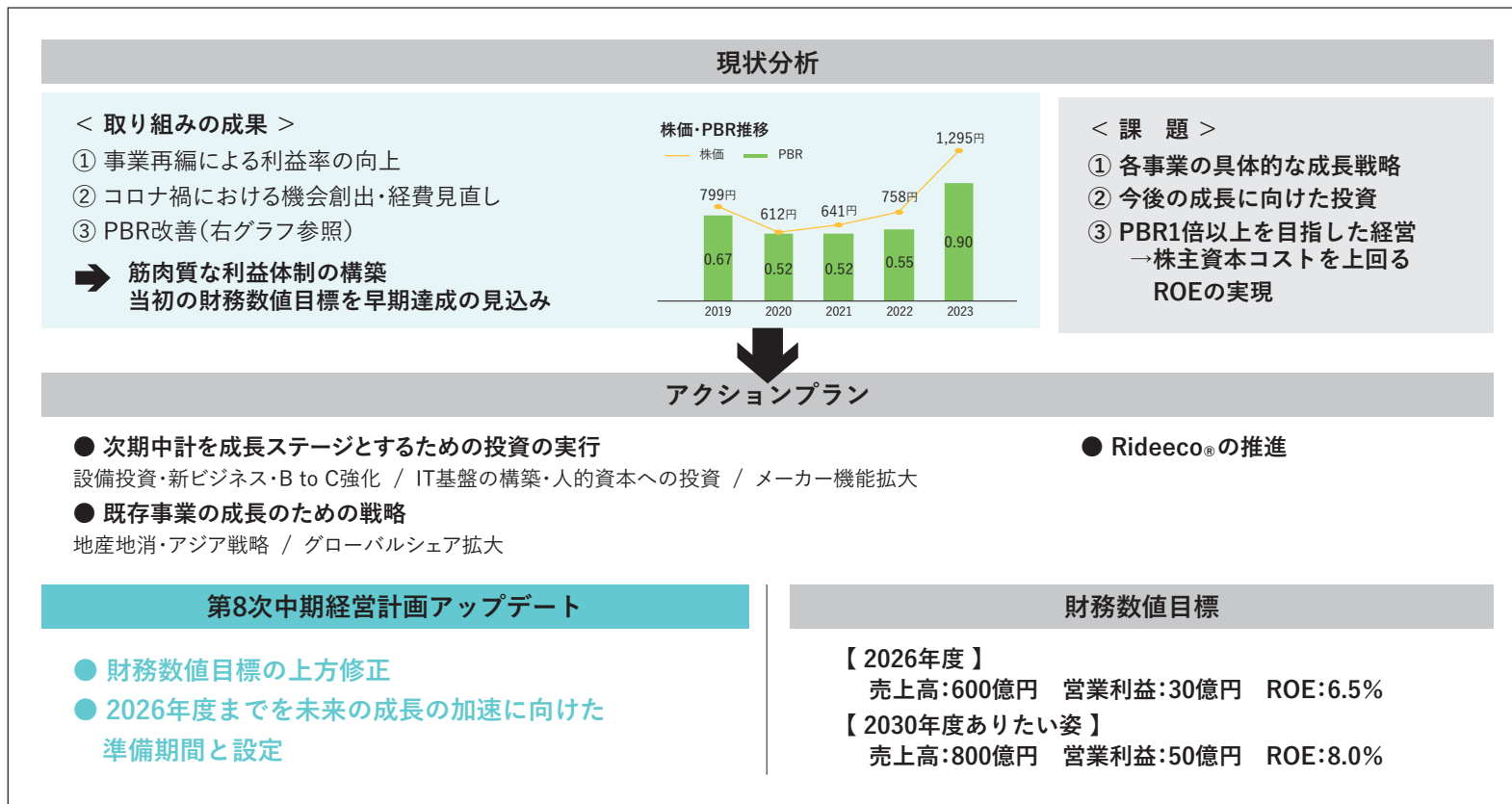
---

小さなパーツで世界を変え続ける

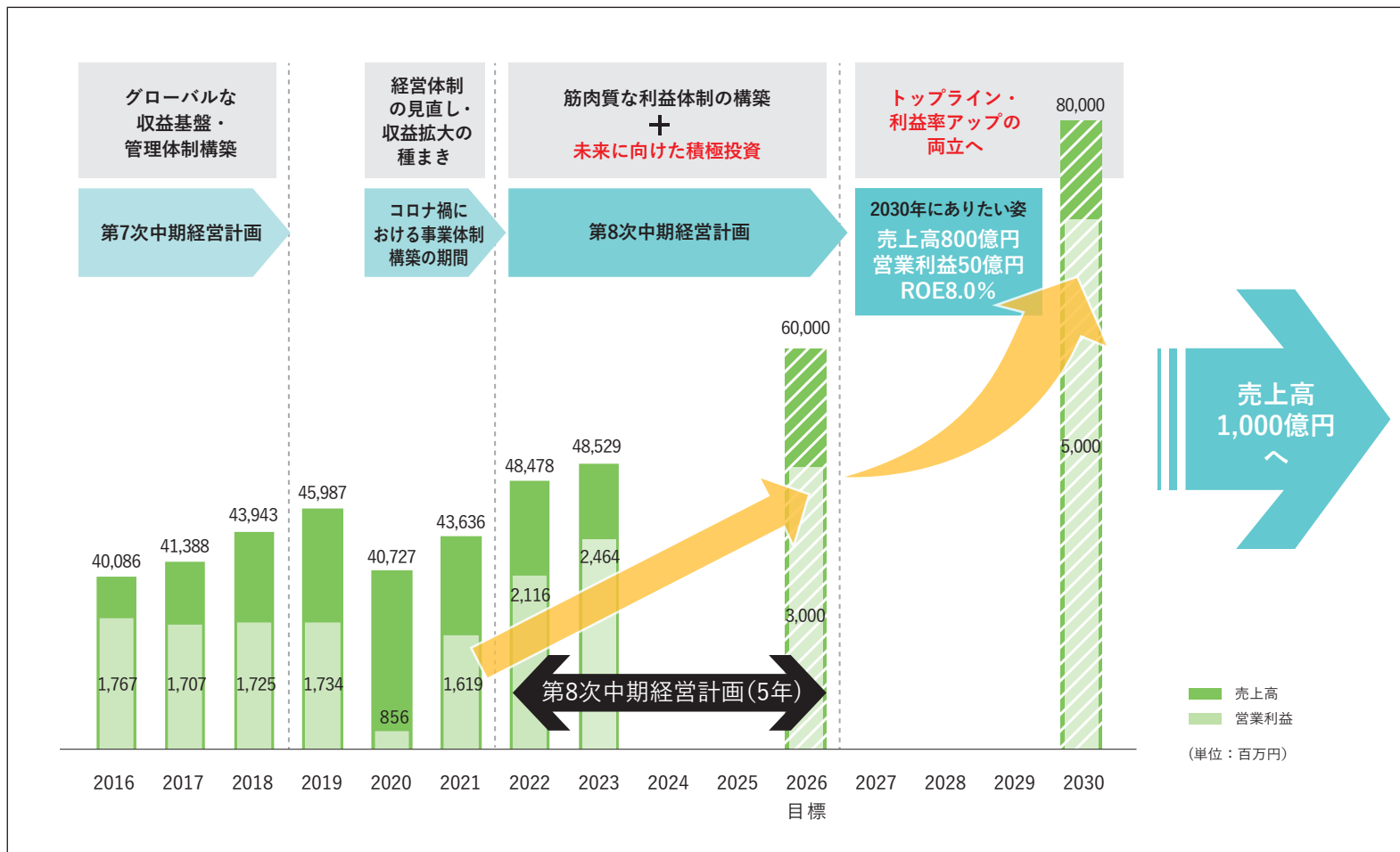
グローバルニッチトップ企業

# 第8次中期経営計画アップデートサマリー（2024年1月公表）

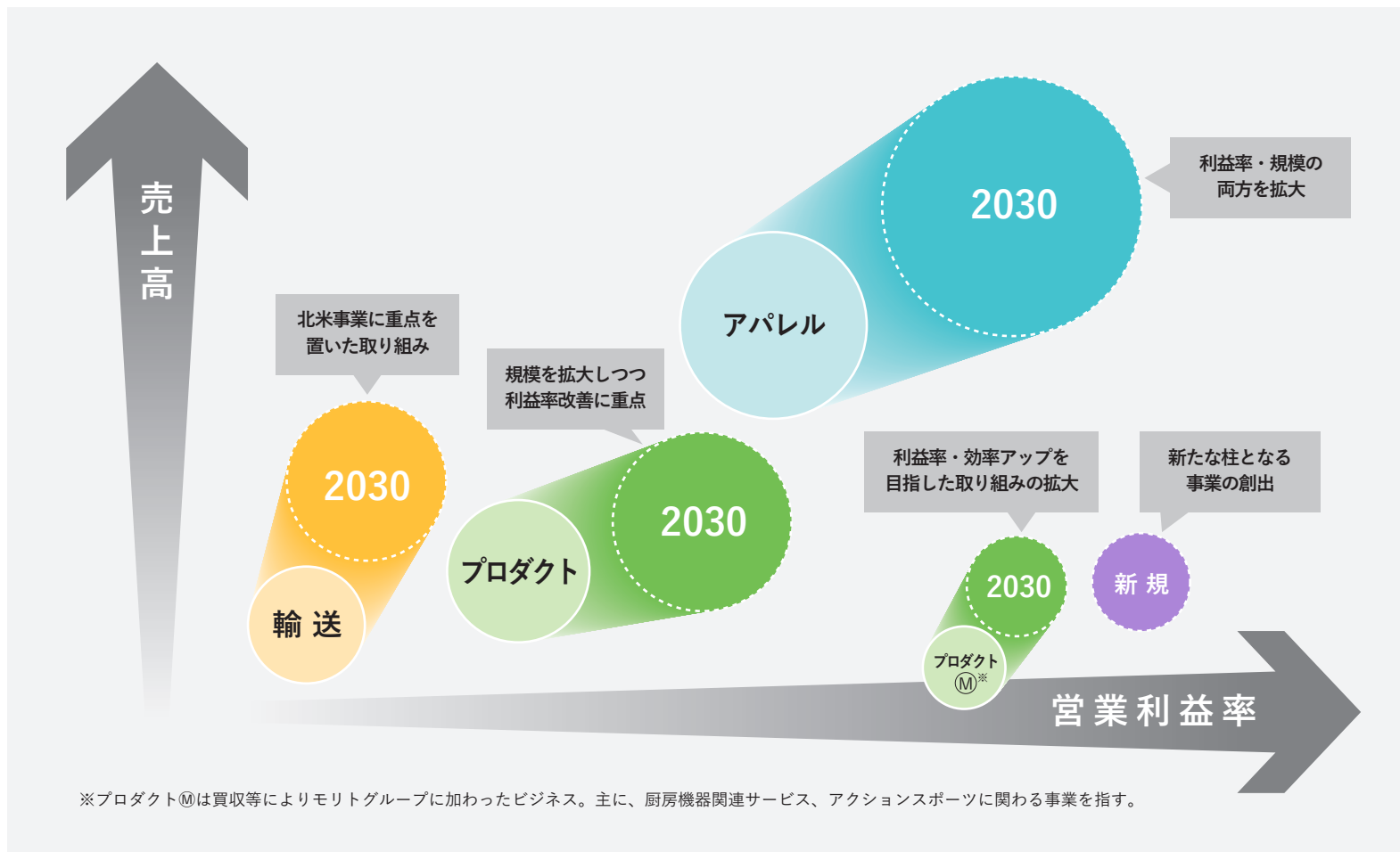
事業再編による利益率向上、コロナ禍における機会創出・経費見直しによる筋肉質な利益体制の構築により、当初の財務数値目標の早期達成を見込、第8次中期経営計画のアップデートを実施。



# 売上高 1,000 億円に向けたロードマップ



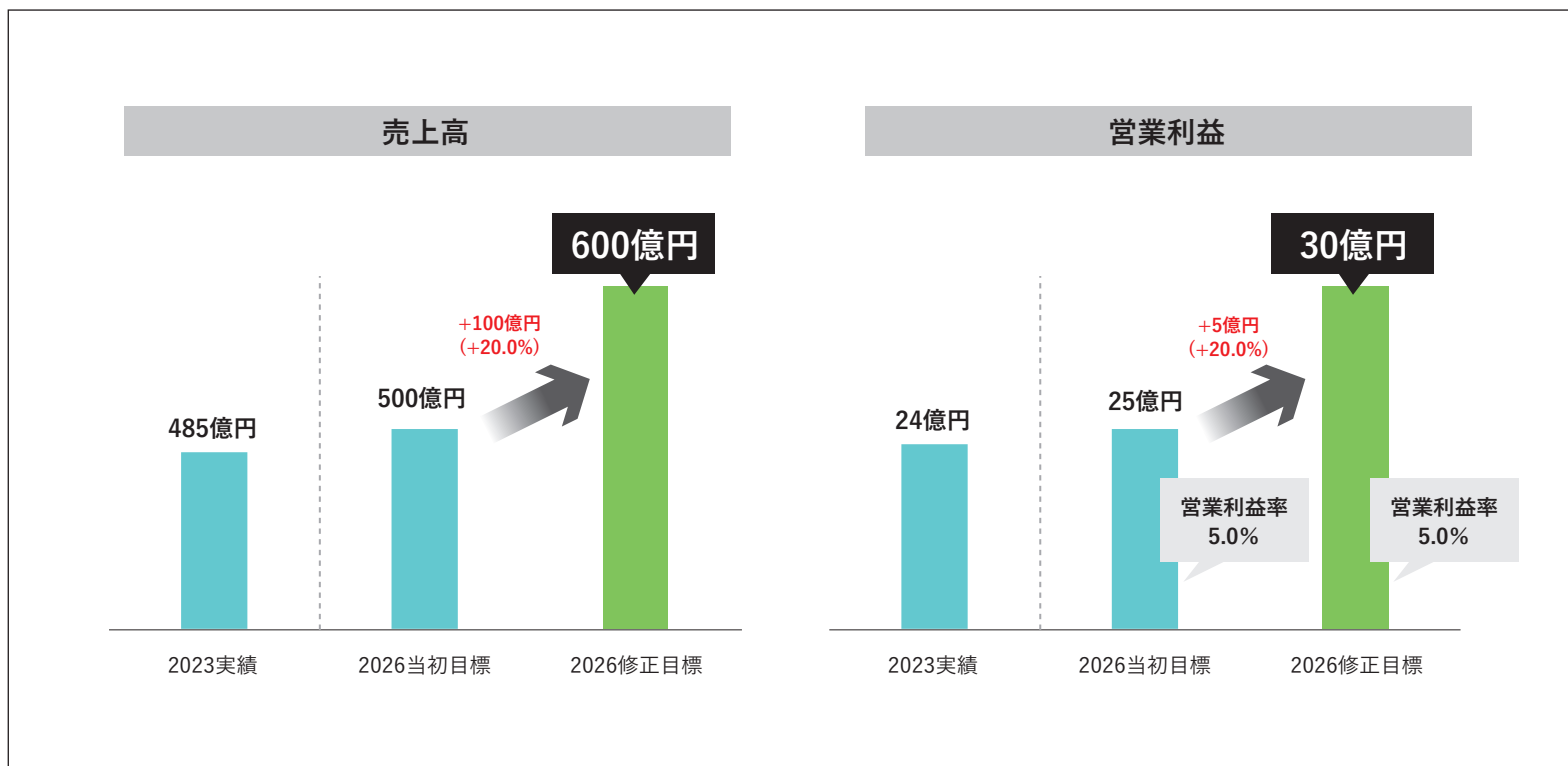
# 事業別 現状と2030年にありたい姿



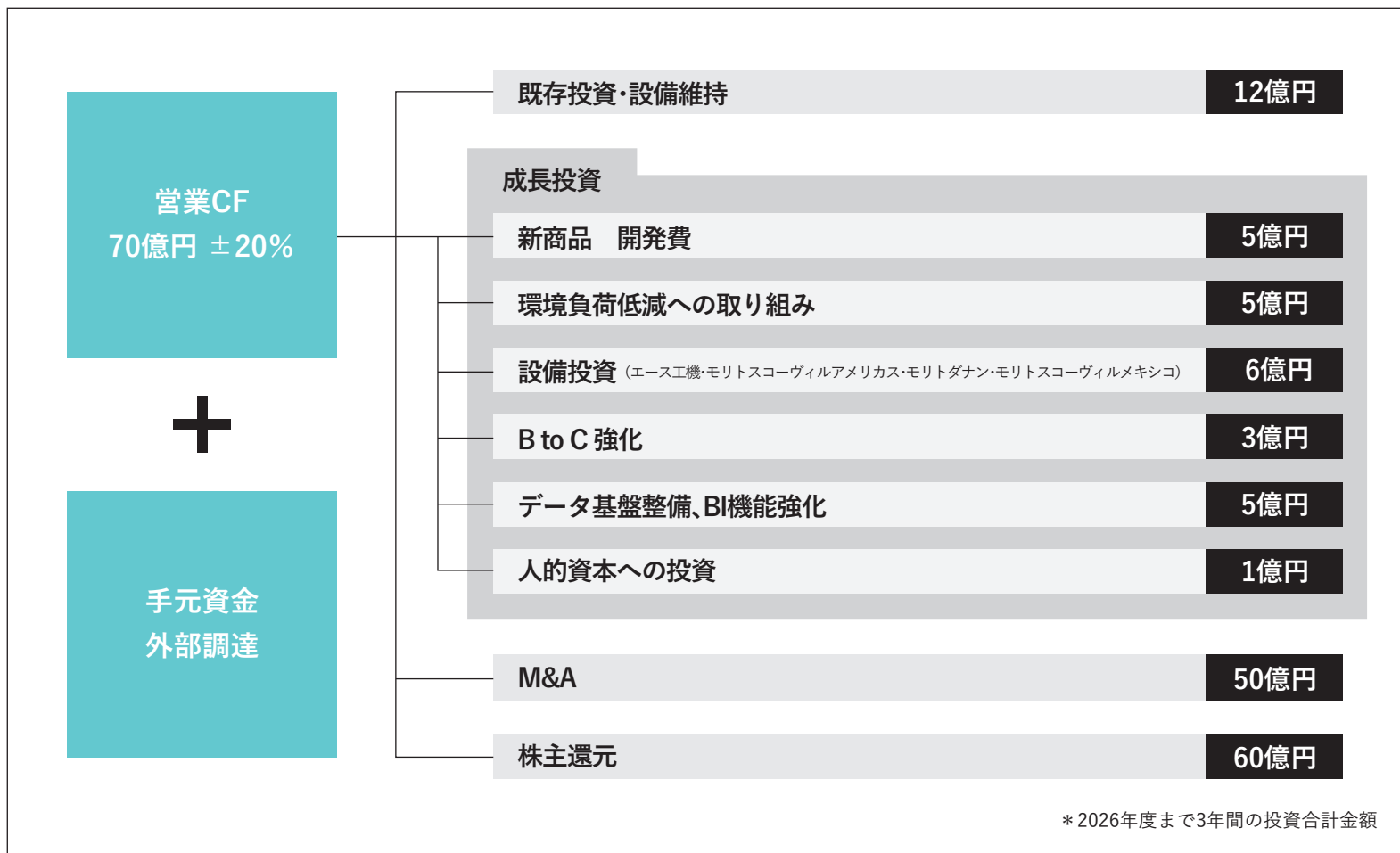


## 財務数値目標のアップデート

直近で改善した利益率の水準を維持することに加え、トップラインを伸ばすことに注力。積極的な投資により、営業利益の成長は一定の範囲を見込むものの、第8次中計期間後に売上高・営業利益共に、更なる成長を狙う。



# 投資戦略

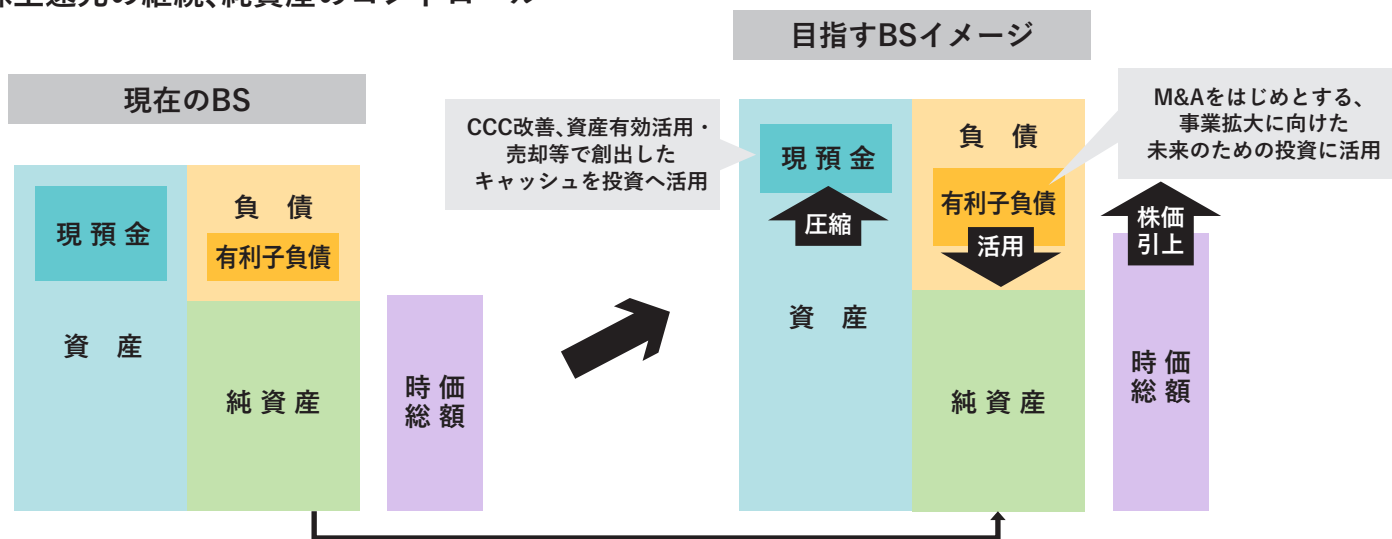


# 投資戦略 【M&A】



# コーポレート戦略 【資本政策・財務戦略：全体像】

- 積極的な成長投資による事業拡大(投資戦略の詳細はP13参照)
- 有利子負債活用による資本構成の適正化
- 株主還元の継続、純資産のコントロール



## 株主還元継続、純資産のコントロール

利益配分に関する基本方針: 配当性向50%・DOE4.0%基準  
機動的な自己株式取得・適切な消却を実施

▶ 「第8次中期経営計画のアップデートについて」の詳細はこちら

# 財務数値目標

		2023年度実績	2026年度目標	2030年度ありたい姿
業 績	売上高	485億円	600億円	800億円
	営業利益	24億円	30億円	50億円
資産・資本収益性	総資産	514億円	成長投資により拡大 ↑	
	純資産	384億円	株主還元により現水準維持 →	
	有利子負債	14億円	成長投資への活用による増加 ↑	
	自己資本比率	74.7%	有利子負債活用による低下 ↓	
	ROE	5.9%	6.5%	8.0%
株主還元	配当性向	66.2%	利益成長による低下	
	DOE	3.9%	4.0%	4.0%
	自己株式取得	4.7億円	機動的に取得を検討 →	
成長投資	投資額	5.4億円	87億円 ※2024~2026年度合計	成長投資拡大

3

## 2024年11月期1Q 業績

---

## 2024年11月期1Q ハイライト

---

- 欧米向けは回復の兆しがあるものの、1Qでは消費の減速・需要の停滞が継続
- 暖冬やコロナ禍後のリバウンド需要の一巡により、アパレル・プロダクト関連事業で国内の在庫のダブつき・メーカー減産のインパクトあり
- 不採算ビジネスの整理が継続、売上高は微減だったものの、利益面で改善
- 3期連続で、1Qの営業利益・当期純利益が四半期開示開始以来、過去最高を更新

## 2024年11月期1Q 通期業績サマリー

売上高については、国内を中心とした暖冬・在庫のダブつきにより、課題がありつつも、利益面の進捗は良好、特に売上総利益率については事業再編・営業努力による成果あり。

(単位：百万円)

	前期	当期	増減	前期比
売上高	11,804	11,744	-60	-0.5%
売上総利益	3,232	3,378	+146	+4.5%
売上総利益率	27.4%	28.8%		
経費	2,613	2,715	+102	+3.9%
経费率	22.1%	23.1%		
営業利益	619	662	+43	+7.0%
営業利益率	5.2%	5.6%		
経常利益	661	669	+8	+1.2%
経常利益率	5.6%	5.7%		
当期純利益	516	564	+48	+9.4%
当期純利益率	4.4%	4.8%		



## 2024年11月期1Q 計画進捗について

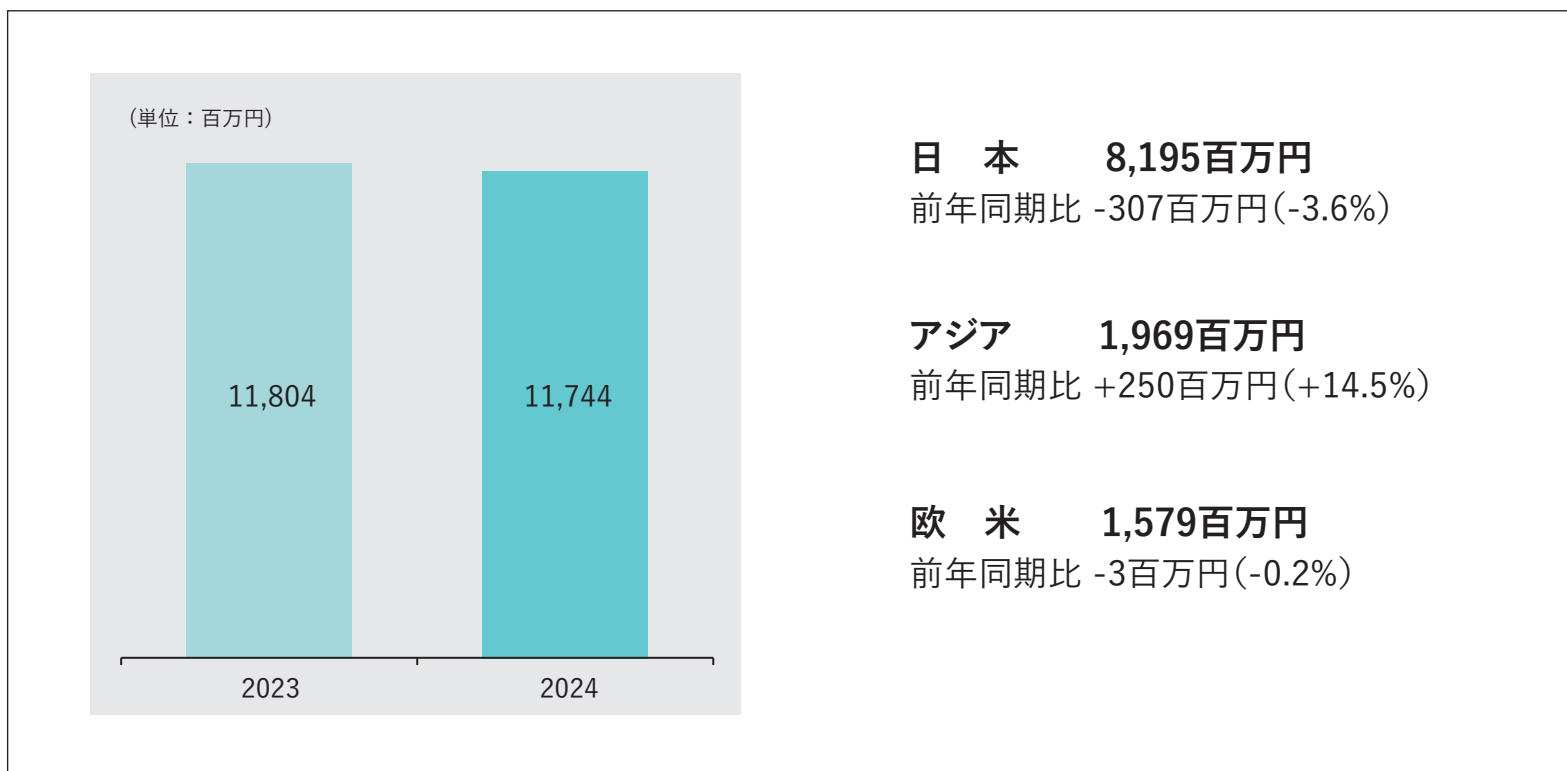
アパレル・プロダクト関連事業を中心に国内消費がやや停滞しつつあるため、売上高が想定よりややビハインド。新規獲得へ向けた取り組みを実施中。利益率については想定通りの水準。

	2024年11月期 1Q実績	2024年11月期 業績予想	進捗度
売上高	11,744	51,000	23.0%
営業利益	662	2,600	25.5%
営業利益率	5.6%	5.1%	
経常利益	669	2,800	23.9%
経常利益率	5.7%	5.5%	
当期純利益	564	2,300	24.5%
当期純利益率	4.8%	4.5%	

## 2024年11月期1Q 売上高

売上高:11,744百万円 前年同期比:-60百万円(-0.5%)

欧米向け商品の需要の停滞が継続したことに加え、暖冬やコロナ禍後のリバウンド需要の一巡による、国内在庫のダブつき・メーカー減産で、国内が減少。不採算ビジネス見直しの影響もあり。



## 2024年11月期1Q 四半期別売上高の推移

1Qでは、欧米の回復の遅れに加え、暖冬によるメーカーからのリピートオーダー減少などの影響で、当社予想よりも売上高は停滞。

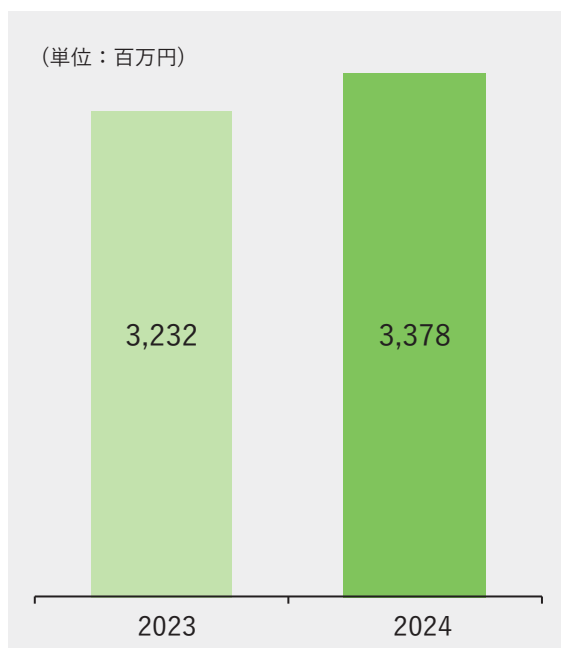


# 2024年11月期1Q 売上総利益

売上総利益:3,378百万円 前年同期比:+146百万円(+4.5%)

売上総利益率の改善により増加。

昨年モリトジャパンの会社分割以降、各社経営層・営業担当の利益率への意識の高まりが継続。

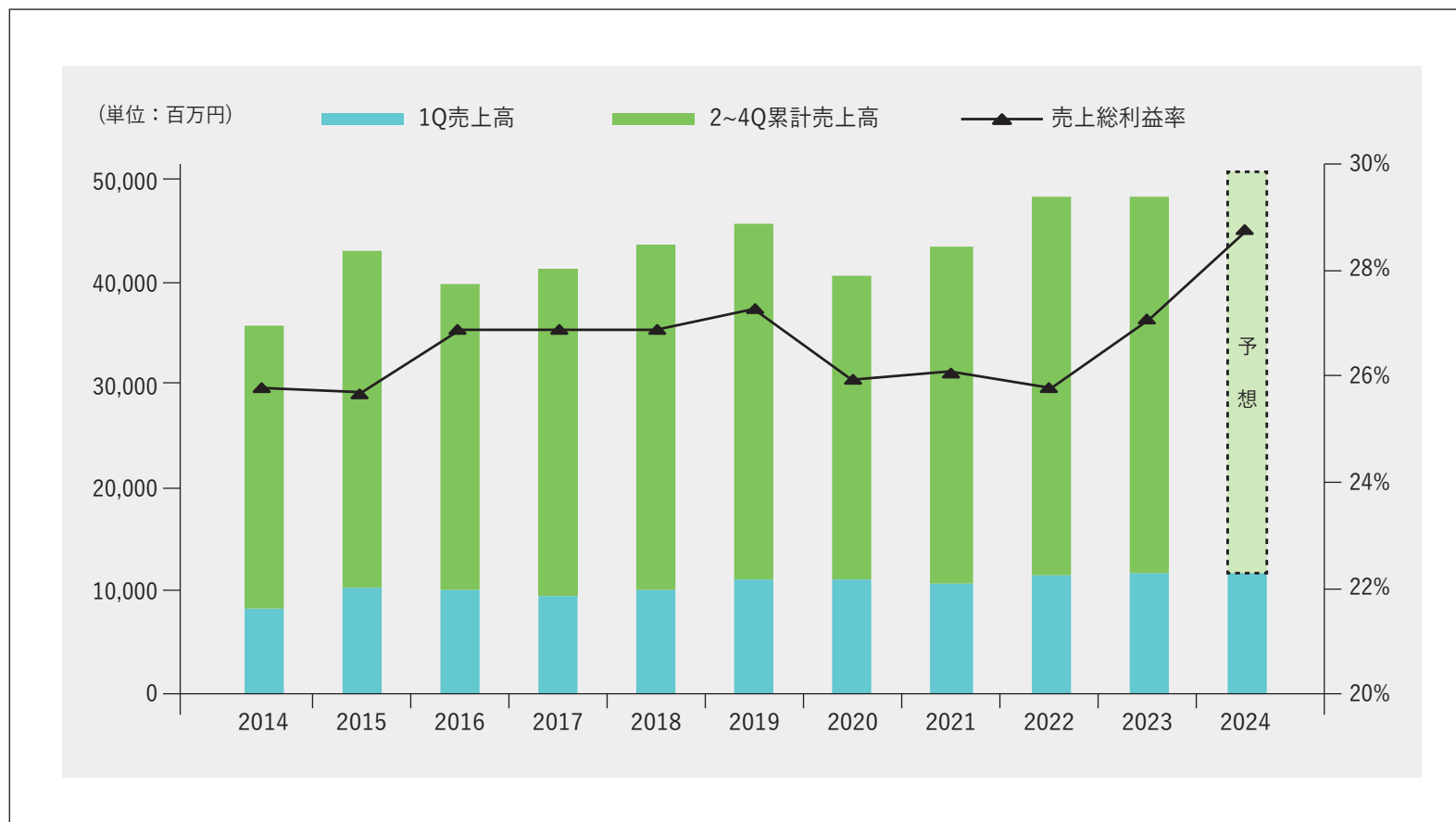


(単位：百万円)

	前 期	当 期	増 減	前期比
売上高	11,804	11,744	-60	-0.5%
売上総利益	3,232	3,378	+146	+4.5%
売上総利益率	27.4%	28.8%		
経 費	2,613	2,715	+102	+3.9%
営業利益	619	662	+43	+7.0%
経常利益	661	669	+8	+1.2%
当期純利益	516	564	+48	+9.4%

# 2024年11月期1Q 売上高・売上総利益率の推移

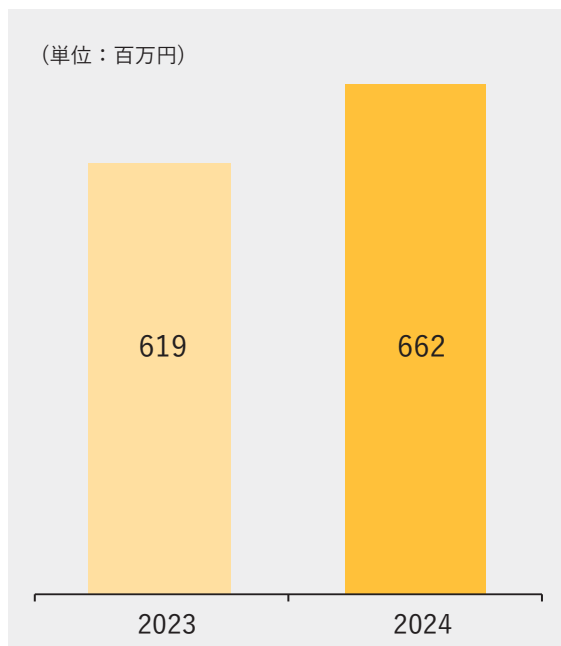
不採算事業の見直しや、販売条件の見直し等、利益率への意識改革が継続し、売上総利益率が改善。



# 2024年11月期1Q 営業利益

営業利益:662百万円 前年同期比:+43百万円(+7.0%)

売上総利益の増加により増加。人件費、旅費交通費などによる経費の増加。



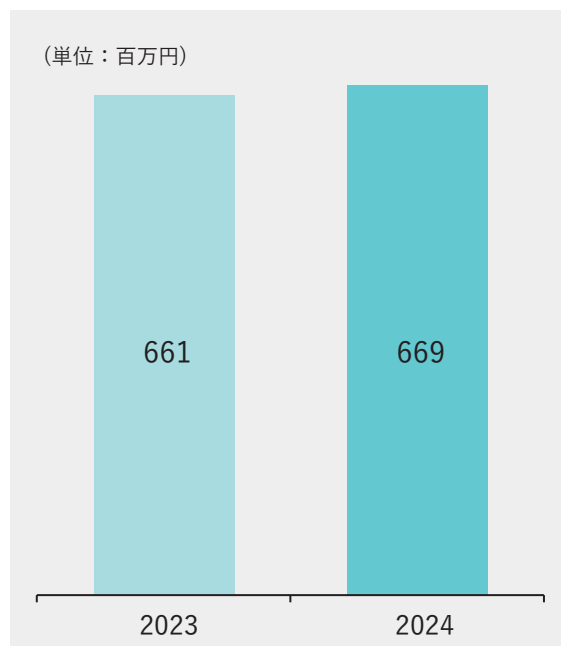
(単位：百万円)

	前 期	当 期	増 減	前期比
売上高	11,804	11,744	-60	-0.5%
売上総利益	3,232	3,378	+146	+4.5%
売上総利益率	27.4%	28.8%		
経 費	2,613	2,715	+102	+3.9%
経費率	22.1%	23.1%		
営業利益	619	662	+43	+7.0%
営業利益率	5.2%	5.6%		
経常利益	661	669	+8	+1.2%
当期純利益	516	564	+48	+9.4%

# 2024年11月期1Q 経常利益

経常利益:669百万円 前年同期比:+8百万円(+1.2%)

営業利益の増加により増加。



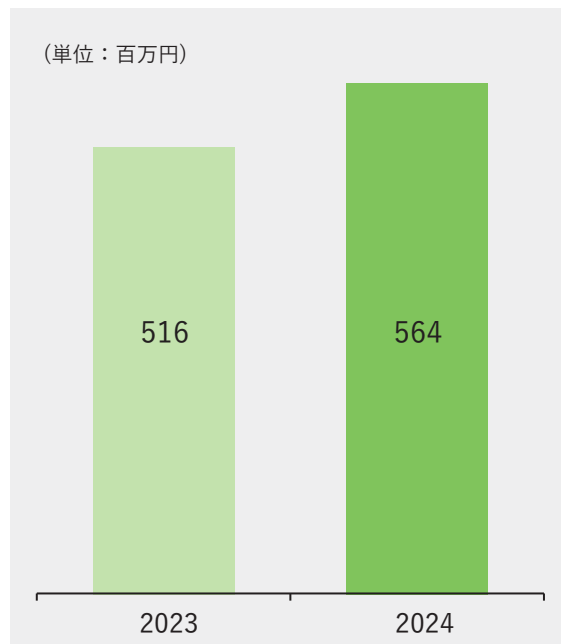
(単位:百万円)

	前 期	当 期	増 減	前期比
売上高	11,804	11,744	-60	-0.5%
売上総利益	3,232	3,378	+146	+4.5%
経 費	2,613	2,715	+102	+3.9%
営業利益	619	662	+43	+7.0%
営業利益率	5.2%	5.6%		
経常利益	661	669	+8	+1.2%
経常利益率	5.6%	5.7%		
当期純利益	516	564	+48	+9.4%
当期純利益率	4.4%	4.8%		

## 2024年11月期1Q 当期純利益

当期純利益:564百万円 前年同期比:+48百万円(+9.4%)

投資有価証券売却益など、特別利益の増加により増加。



(単位：百万円)

	前 期	当 期	増 減	前期比
売上高	11,804	11,744	-60	-0.5%
売上総利益	3,232	3,378	+146	+4.5%
経 費	2,613	2,715	+102	+3.9%
営業利益	619	662	+43	+7.0%
経常利益	661	669	+8	+1.2%
経常利益率	5.6%	5.7%		
当期純利益	516	564	+48	+9.4%
当期純利益率	4.4%	4.8%		



# 2024年11月期1Q 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2023 4Q	2024 1Q
<b>資産の部</b>		
流動資産	31,149	30,021 (-1,128)
固定資産	20,280	19,778 (-502)
資産合計	51,429	49,800 (-1,629)

	2023 4Q	2024 1Q
<b>負債の部</b>		
流動負債	8,589	7,743 (-846)
固定負債	4,382	4,251 (-131)
負債合計	12,972	11,994 (-978)
<b>純資産の部</b>		
株主資本	32,673	32,458 (-215)
その他の 包括利益累計額	5,760	5,335 (-425)
新株予約権	23	12 (-11)
純資産合計	38,457	37,805 (-652)
負債純資産合計	51,429	49,800 (-1,629)

自己資本比率 2024.1Q 75.9%  
(2023.4Q 74.7%)

4

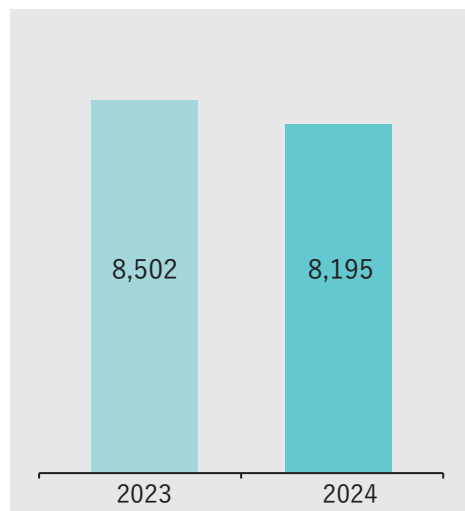
## 2024年11月期1Q 事業の概況

---

# 2024年11月期1Q 地域別売上高

(単位：百万円)

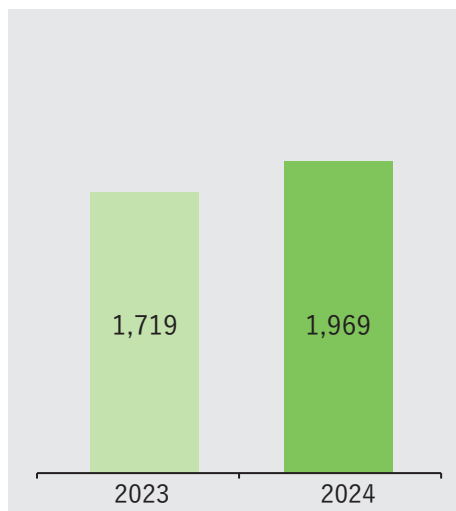
日本



前年同期比 -307百万円  
(-3.6%)



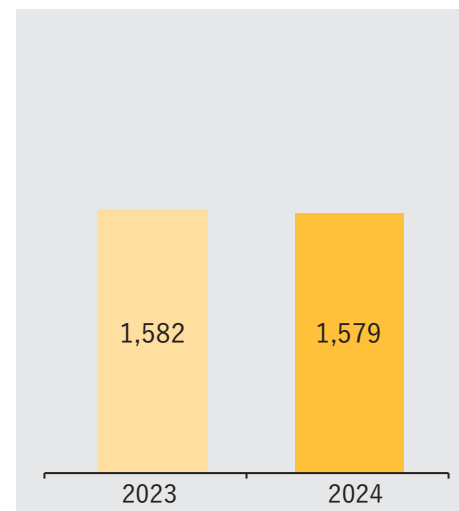
アジア



前年同期比 +250百万円  
(+14.5%)



欧米



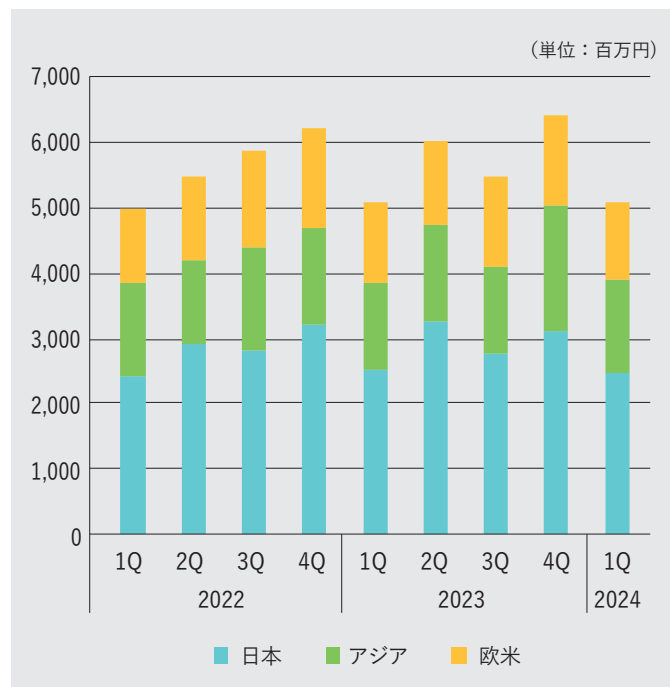
前年同期比 -3百万円  
(-0.2%)



# 2024年11月期1Q アパレル関連事業売上高

売上高:5,131百万円 前年同期比:-27百万円(-0.5%)

欧米向け商品は軟調に推移するも、回復の兆しあり。アジアでは現地生産・調達商品の採用あり。国内は暖冬による冬物リピートオーダーの減少により停滞。



## 日本

- ・欧米向けのメディカルウェア、バッグ向け付属品の増加
- ・作業服、カジュアルウェア向け付属品の減少

## アジア

- ・中国・香港での作業服向け付属品の減少
- ・中国・香港でのベビーウェア、カジュアルウェア向け付属品の増加
- ・ベトナムでのスポーツシューズ向け付属品、作業服関連商品の増加

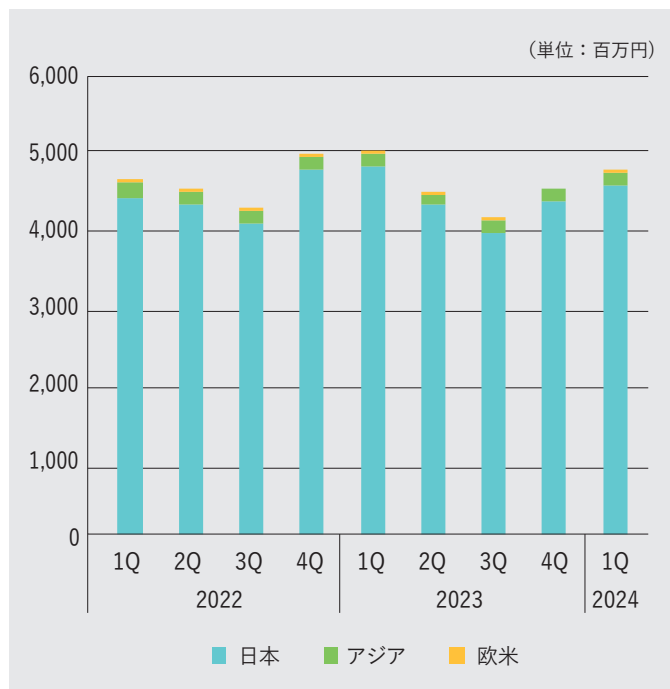
## 欧米

- ・アメリカでのメディカルウェア向け付属品の増加
- ・欧州での作業服向け付属品の減少

# 2024年11月期1Q プロダクト関連事業売上高

売上高:4,690百万円 前年同期比:-230百万円(-4.7%)

厨房機器関連サービス事業は引き続き堅調。コロナ禍において需要の高まったアクティブスポーツ関連商品は、一巡。次期五輪での盛り上がり期待。



## 日本

- ・均一価格小売店向け商品、文具関連商品の増加
- ・厨房機器レンタル・販売・清掃事業の増加
- ・建築現場向け安全関連商品の減少
- ・スノーボード・サーフボード関連商品の減少

## アジア

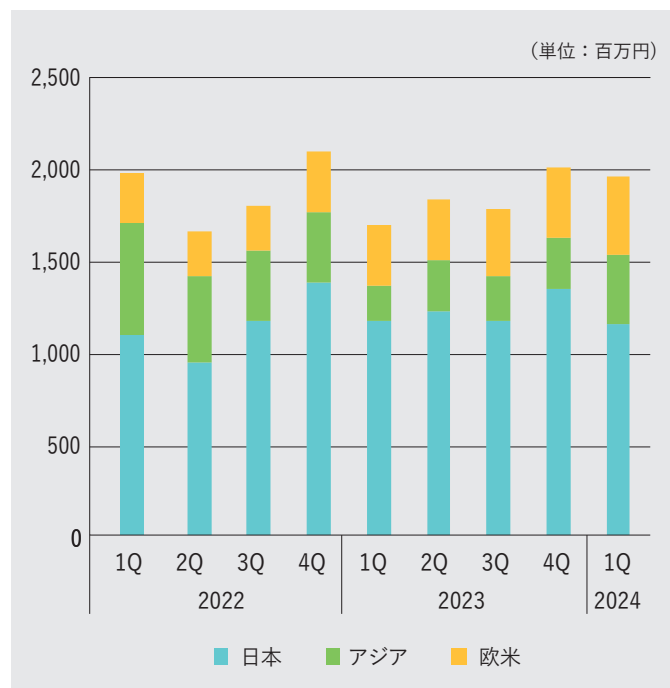
- ・昨年と同水準

# 2024年11月期1Q 輸送関連事業売上高

売上高:1,922百万円 前年同期比:+197百万円(+11.4%)

国内は自工メーカーの工場停止などにより停滞したものの、2Q以降で挽回生産見込。

中国はゼロコロナ政策解消により、増加。ただし不採算ビジネス撤退は継続予定。



## 日本

- ・日系自動車メーカー向け自動車内装部品の減少

## アジア

- ・中国での日系自動車メーカー向け自動車内装部品が増加

## 欧米

- ・日系自動車メーカー向け自動車内装部品が増加

## 2024年11月期1Q 地域別売上高(四半期別)

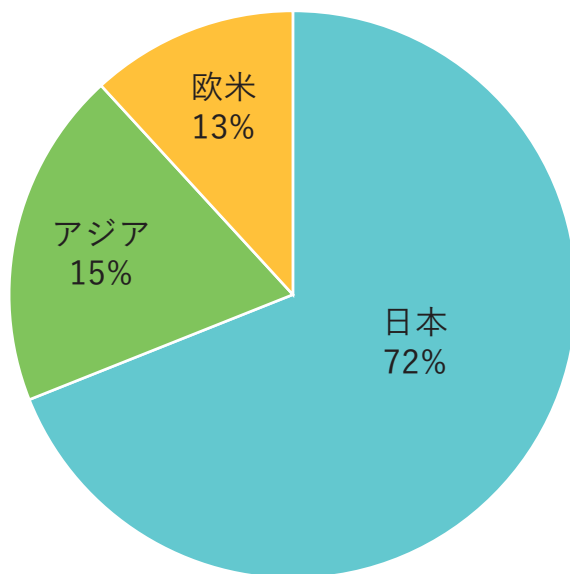
2024年11月期 実績				
	1Q	構成比	増減額	増減率
日本	8,195	69.8%	-307	-3.6%
アジア	1,969	16.8%	+250	+14.5%
欧米	1,579	13.4%	-3	-0.2%
合計	11,744	100.0%	-60	-0.5%

(単位：百万円)

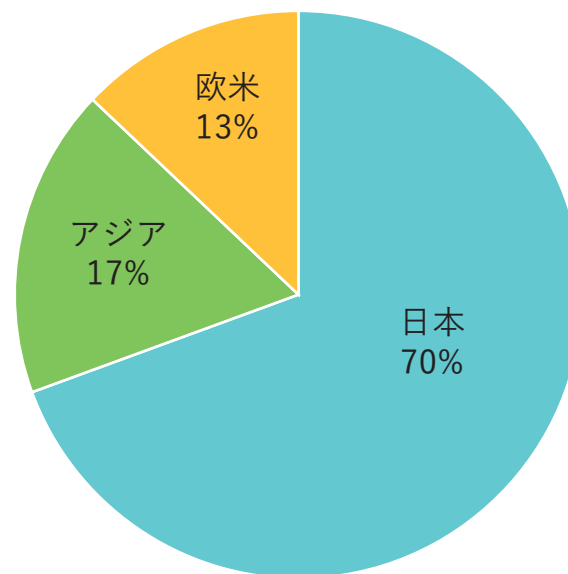
2023年度11月期 実績								
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	構成比	増減額	増減率
日本	8,502	8,826	7,901	8,841	34,070	70.2%	+554	+1.7%
アジア	1,719	1,864	1,739	2,383	7,705	15.9%	-635	-7.6%
欧米	1,582	1,654	1,763	1,754	6,753	13.9%	+132	+2.0%
合計	11,804	12,344	11,403	12,978	48,529	100.0%	+51	+0.1%

# 2024年11月期1Q 地域別 売上構成

2023年1Q



2024年1Q

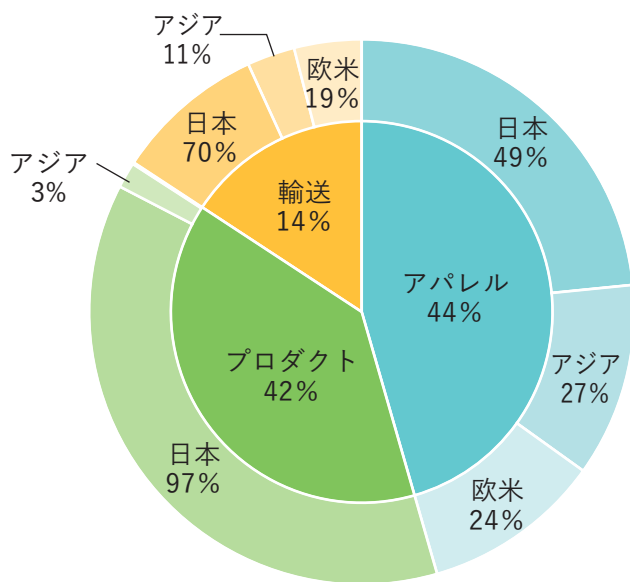


中国ゼロコロナ政策の解消によりアジアが昨対比増加。

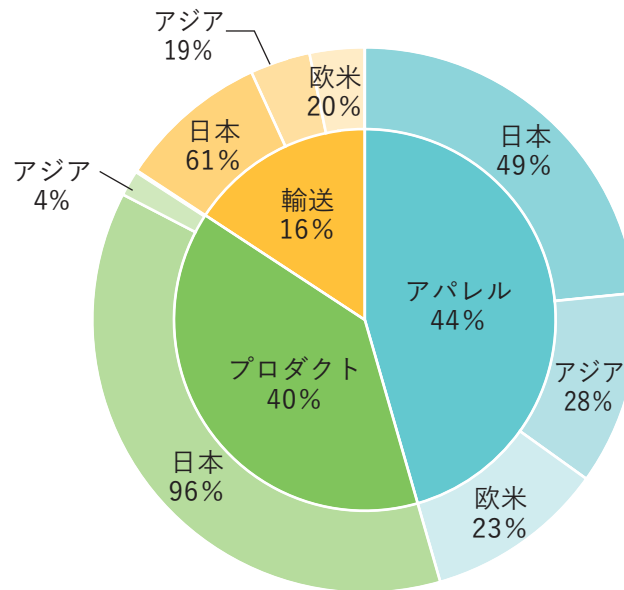


# 2024年11月期1Q 地域別×事業別 売上構成

2023年1Q



2024年1Q



プロダクト事業での不採算事業見直しにより昨対比減少。

# 6

## 事業トピックス

---

## 環境への取り組み Rideeco® (リデコ)

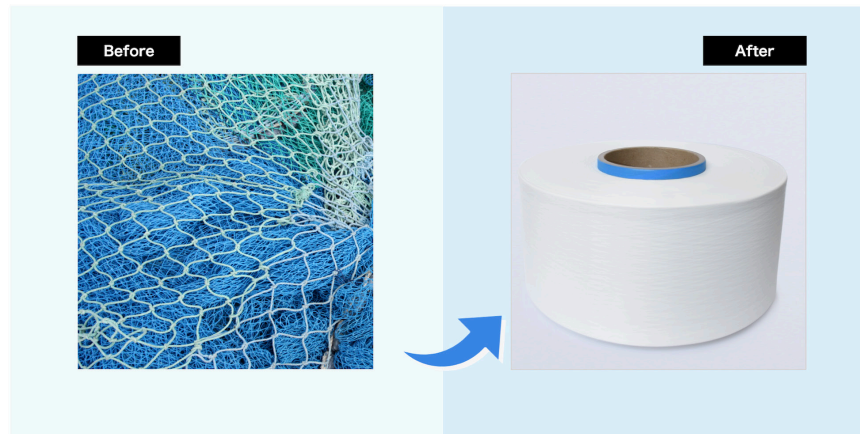
廃漁網を活用した生地・資材を使った商品の開発・販売に継続して注力し、〈BEAMS GOLF〉の地球の環境保全を意識したプロダクトに生地が採用。 ▶詳細はこちら



キャディバッグ・リュック・ヘッドカバーなどの製品の外側素材として  
廃漁網を活用した生地が採用。

# 環境への取り組み Rideeco® (リデコ) 新商品「MURON (ミューロン)」

日本で回収した廃漁網を100%使用した、ケミカルリサイクル糸「MURON(ミューロン)」の製造を開始。ケミカルリサイクルにより、高品質で安定した繊維が実現。海とつながりのある複数の大手ブランドでの採用・製品化の予定あり。



## MURON

日本の廃漁網100%リサイクル糸



1. 廃漁網の回収
2. 廃漁網の不純物除去
3. 廃漁網から再生ナイロン樹脂へリサイクル
4. 再生ナイロン樹脂をケミカルリサイクル

※ 画像はイメージです

## グループ会社紹介 株式会社マニューバーライン（プロダクト関連事業）

パリ五輪正式種目としても注目されるスケートボード・サーフィンをはじめとしたアクティブスポーツ関連商品を取り扱う。プロ選手愛用のブランドも多数。代理店として、日本企画のデザイン作成、開発を行い、モリトグループのパーツが付いた商品販売する事でシナジー効果。

<https://maneuverline.co.jp/>

<スケートボード関連 取り扱いブランド例>



etnies



BAKER SKATEBOARDS®



es®



DEATHWISH®



Emerica®



SHAKE JUNT®

<マリンレジャー関連 取り扱いブランド例>



CHANNEL ISLANDS®



RED PADDLE CO®



futures.®



CREATURES OF LEISURE®

## 日経CNBC「～攻めのIR～Market Breakthrough」出演

当社代表取締役社長 一坪が出演。モリトの事業内容・強み・今後の成長戦略について語る。



## (参考)メディア掲載情報

- テレビ番組等で積雪時の靴底用滑り止めアイテムとして、「アイススパイク」が紹介



- Yahoo!ニュース等で防災アイテムとして「踏み抜き防止インソール」が紹介

[https://nikkan-spa.jp/1969729?cx\\_clicks\\_art\\_mdl=2\\_title](https://nikkan-spa.jp/1969729?cx_clicks_art_mdl=2_title)



- Yahoo!ニュース等で  
ALL WEATHER HIGH SPEC WEARの新商品が紹介

<https://www.goodspress.jp/news/588146/>

泥も油も  
落ちやすい  
ホワイト  
アクティブウェア

Sustain  
White  
System





# 7

## 株主還元策

---



# 利益配分に関する基本方針

株主に対する利益還元を経営上の重要課題のひとつと位置付け、投資案件および財務状況（純資産等）を勘案の上、下記の方針に基づき、配当額を決定。

安定的かつ継続的  
配当の実現

親会社株主に帰属する  
当期純利益に対する

配当性向は  
50%以上を  
基準

連結自己資本配当率

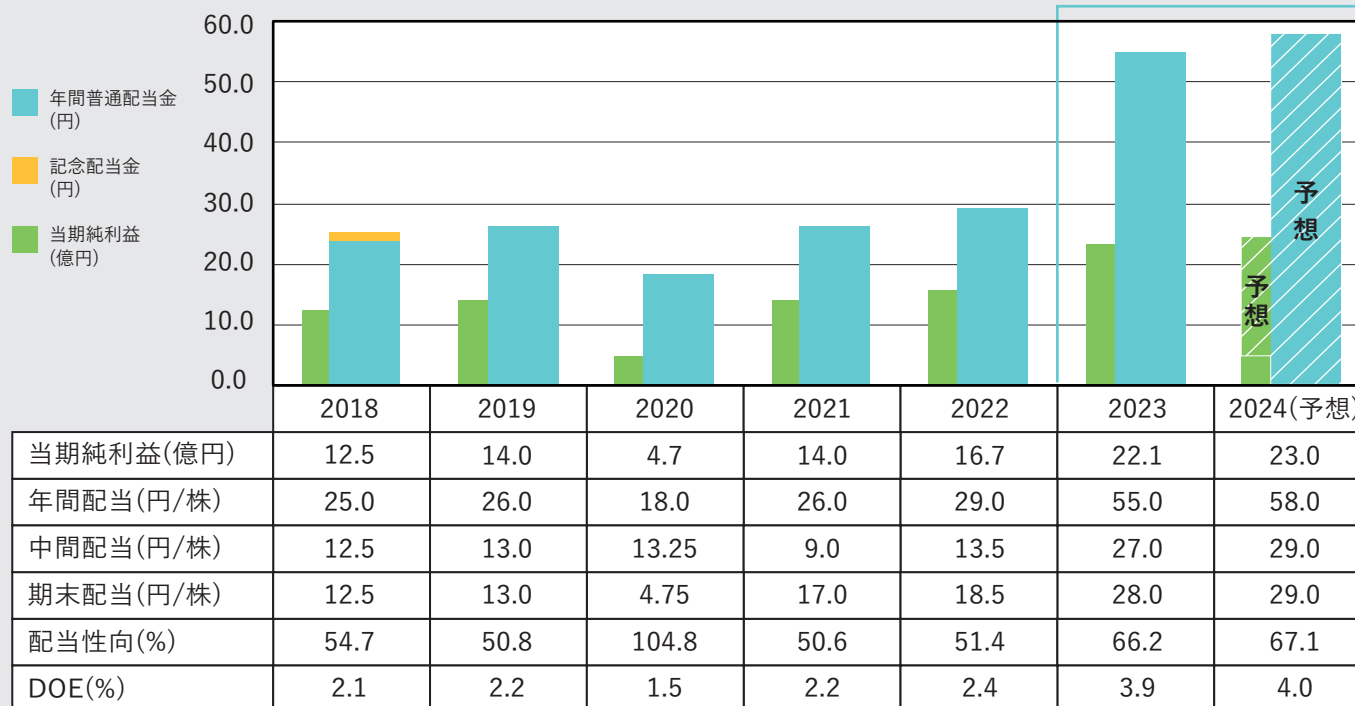
DOE 4.0%  
基準

機動的な自己株式取得および適切な消却の実施を引き続き検討

※ ただし、特別な損益等の特殊要因により税引後の親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する事業年度についてはその影響を考慮し配当額を決定します。

# 配当金・配当性向・DOEの推移

2023年度より、利益配分に関する基本方針を変更



## 本資料のお取扱いについて

---

本資料は、当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。

本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ先

モリト株式会社 IR・広報部

〒541-0054 大阪市中央区南本町 4-2-4

E-mail : [ir@morito.co.jp](mailto:ir@morito.co.jp)

# MORITO

あたりまえに、新しさ。